



# 杉山たかひろ

ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel.35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ <http://yaplog.jp/jcpnishisugi/> (携帯も可)

アサヒビール跡地活用

中央病院、消防署、体育館、防災公園を市が提案

2月2日開催の総務常任委員会で、西宮市は「アサヒビール西宮工場跡地提案書」と「アサヒビール西宮工場跡地における公共施設整備計画の基本構想（素案）」を報告しました。

この中で西宮市は、中央病院の移転建て替えのほか、西宮消防署、中央体育館の移転を同地に整備、あわせて防災公園、供用駐車場、南北道路整備などを含め、4万5100㎡を公共施設として整備する提案をしました。総事業費は、開発者負担のある道路整備をのぞくと約240億円です。

## 公共施設整備案

### 総面積4万5100㎡ 総事業費240億円

\*開発者負担のある道路費用は除く

中央体育館・武道場  
面積 10000㎡  
事業費 89.5億円

多目的・防災公園  
面積 10000㎡  
事業費 19.1億円

供用駐車場  
面積 5000㎡  
事業費 12.3億円

中央病院  
面積 7100㎡  
事業費 88.6億円

南北道路  
10000㎡

西宮消防署  
面積 3000㎡  
事業費 30.5億円

西宮市は、同地について「跡地活用提案書」で、新たに「産業・生活・交流拠点」として位置づけ、新たな企業立地など「産業の再編成と地域の活性化」、「公施設・防災機能の強化」、みどりの創出や上質な住宅地など「高品質な『まちなみ』の形成」の考え方を示しています。

広大な土地の活用と、巨額の公共施設整備については、市民合意なしにすすめさせるわけにはいきません。巨額の公共施設整備の提案の一方、「厳しい財政」を理由に、小学校のエアコン設置は当初方針を変更し、先送りをすることを決めています。市の財政問題と大きくかわる点では、市民の暮らしにも影響します。

## UR 借り上げ復興住宅問題 「返還やめよ」と市議団が申し入れ

阪神淡路大震災時、災害復興住宅として都市再生機構（UR）から西宮市が 20 年間借り上げた市営住宅の期限が 3 年半後に迫っています。

2 月 14 日、日本共産党西宮市会議員団は、返還せず、入居者が住み続けられるよう、西宮市に申し入れを行いました。

昨年、この問題で市議団が交渉した際、本井副市長は「不安を与えないようにする」「買えば市の資産になる」と回答。その後「基本的に返還」の方針となり、入居者から不安の声があがっています。

今回、本井副市長は「引越しなどの不安を与えないということだった」とごまかしの発言がありましたが、「基本的に」とは適切な価格で買い上げができるのであれば方針は変えられる旨の発言もあり、国の支援が必要だということが明らかになりました。

市は春から各団地に説明に入り、入居者の声も聴くとのこと。市営住宅は不足しており、入居者だけの問題ではなく、「残す」ことが大事です。



西宮市に申し入れする市議団